

## 令和4年度計算書類に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 引当金の計上について

退職給付引当金は、協会の規定に基づく協会都合退職手当の所要額を上限として計上している。

#### (2) 資産の範囲について

資産の範囲には、現金預金・未収入金・前払費用・仮払金・未払金・前受会費・預り金・未払法人税・住民税・事業税・消費税等を含めている。

なお、前期末及び当期末の残高は次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金	22,878,371	17,675,469
未収入金	1,441,540	123,560
前払費用	657,670	626,170
仮払金	117,624	142,128
合 計	25,095,205	18,567,327
未払金	1,557,960	618,235
前受会費	0	39,000
預り金	180,097	190,862
未払法人税・住民税・事業税・消費税	328,700	144,400
合 計	2,065,757	992,497
次期繰越収支差額	23,028,448	17,574,830

#### (3) 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高について

(単位:円)

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	612,360	438,858	173,502

#### (4) 消費税の処理について

消費税は、税込経理である。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	5,000,000	0	0	5,000,000
普通預金	1,000,000	2,000,000	0	3,000,000
小 計	6,000,000	2,000,000	0	8,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	12,179,150	866,300	0	13,045,450
小 計	12,179,150	866,300	0	13,045,450
合 計	18,179,150	2,866,300	0	21,045,450

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	5,000,000	(5,000,000)		
普通預金	3,000,000		(3,000,000)	
小 計	8,000,000	(5,000,000)	(3,000,000)	( 0)
特定資産				
退職給付引当資産	13,045,450	-	-	(13,045,450)
小 計	13,045,450	-	-	(13,045,450)
合 計	21,045,450	(5,000,000)	(3,000,000)	(13,045,450)